

# 令和2年度第3回岡山市総合教育会議

日 時：令和2年12月22日（火）

午後3時30分～

場 所：市庁舎 第3会議室

## 会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

(1) 次期教育大綱に向けた取組の方向性について

- ・ 現教育大綱をもとにした取組の検証
- ・ 目指す子どもの姿とそのために必要な力

3 閉 会

『樹人』 明日の世界に雄飛する人を樹うる

教育大綱をもとに、学校と教育委員会が同じ方向性をもって具体的な取組を進めたことで、  
教職員の意識が高まり、全ての学校で学力向上や問題行動等の取組が進んだ。

学力の向上

目標：偏差値 (小) 51 (中) 50

児童生徒の学力を付けるために、授業を変えよう。

- 全国学力・学習状況調査の結果をもとに、教育委員会と学校が授業について協議する機会が増えた。  
(全国学力・学習状況調査の結果を活用した授業改善 100%)
- 教員が、自分の授業について積極的に校長等に指導助言を求める姿が増えた。  
(校長による週2回以上の授業参観と授業の良さや課題等への助言 100%)
- 教職員がより良い授業づくりについて、日常的に会話する姿が増えた。  
(授業に役立つ研修の実施 100%)

成果



基礎的な知識を身に付け、それをもとに「考えることができる子ども」が育ってきた。

全国平均レベルの学力が付いた。(参考資料1①)

問題行動等の防止及び解決

目標：暴力行為(中) 9.5件/1,000人以下  
不登校出現率(小) 0.42%以下

児童生徒の問題行動等を防ぐために、毅然とした態度で指導しよう。

- 問題行動等の防止に向けた、各学校の方針が明確になった。  
(問題行動等の防止に関する方針の策定と保護者等への説明 100%)
- 教職員が、問題行動等に対する具体的な協議をする機会が増えた。  
(年3回以上の研修会等の実施 100%)
- 児童生徒が、自分の気持ちを考えたり、守るべきルール等に気づいたりすることのできる機会が増えた。  
(善悪の判断や思いやりの気持ちを学ぶ道徳授業や、警察と協働での非行防止教室等の実施 100%)

成果



問題行動等の未然防止や早期解決に向けて、教職員が一人で抱え込むことなく、学校全体での取組が進んできた。

不登校の出現率は、改善とは言えないが、全国に比べて緩やかな増加(参考資料2)

授業が分かることで、児童生徒の登校意欲が高まった。

- 今後は・・・
- これまでの成果につながった取組を継続
  - 未解決の課題解決と、社会の変化による新たな課題への対応

これまでの取組の  
継続

- 教育長を中心とした教育委員会の学校訪問による学校運営・授業改善への指導助言（学期1回以上）
- 教育委員会と校長会等との学力向上に向けた定期的な情報交換
- 校長を中心とした校内の授業参観・指導助言（週2回以上）
- 各学校での学力調査等の結果を効果的に活用した授業
- 各学校での研修会や個々の状況をもとにしたケース会議の実施（年3回以上）
- 家庭訪問（欠席連続3日）や支援計画の作成（年間欠席10日以上）による各学校での組織的な取組

新たな課題に向けた取組に  
発展

- 【課題】
- 記述式問題の正答率の改善が不十分
    - 身に付いた知識を関連付けて答えを導き出す力が弱い。
    - 考えの理由を明確にして説明する力が弱い。
  - 英語力が全国レベルに達していない。
  - 新たな不登校児童生徒の増加と長期化
  - 急激で、予測が困難な社会の変化

- 児童同士が意見を交わしたり、自分の考えを表現したりする授業
- ICTを効果的に活用する探究活動
- 一人ひとりが活躍できる機会
- 相手の気持ちや考えを聴く機会

## 次期教育大綱に向けた取組【方向性】

自分の将来の姿をイメージし、その実現に向けて  
自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

全国平均以上の学力

新規不登校児童生徒の出現率の減少

必要な力

**活用力** 情報を収集して、解釈したり、活用したりする力

**表現力** 自分の思っていることや考えたことを、他者に分かりやすく伝える力

**向上心** 何事に対しても、粘り強く取り組み、乗り越える力

**社会性** 他者と一緒に考えたり、同じ方向で取り組んだりする力

**人権尊重の精神**  
多様性を認め、人権を尊重する態度

## 指 標

●全国学力・学習状況調査の偏差値50以上  
(英語を含む)

●記述式問題の正答率の上昇(参考資料1③④)

全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比  
(岡山市の正答率/全国の正答率)を1以上にする。

●挑戦している児童生徒の増加(参考資料1⑤)

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している児童生徒の割合を基準値(R1)から5ポイント以上上昇する。

指標数値：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●新規不登校児童生徒の出現率の低下

新規不登校児童生徒(小中合計)の出現率を0.47%以下にする。(R1 0.81%)

指標数値：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

●人を大切にできる児童生徒の増加(参考資料1⑥)

人が困っているときに進んで助けると答えた児童生徒の割合を基準地(R1)から5ポイント以上上昇する。

指標数値：岡山市教育に関する総合調査

将来の姿

一人ひとりが、それぞれの立場で社会に貢献し、自分の幸せを創造する

①全国学力・学習状況調査の偏差値

年度	H28	H29	H30	R1
小・国語	50	51	50	51
小・算数	50	50	50	50
中・国語	48	49	49	50
中・数学	48	49	49	50
中・英語	—	—	—	49

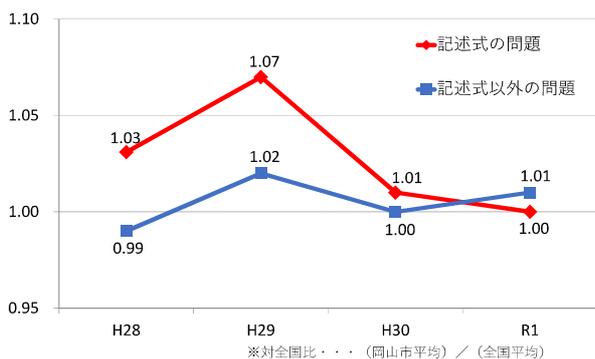
※H28～H30の偏差値については、B問題（主として「活用」に関する問題）の結果  
英語はR1のみ実施

②全国学力・学習状況調査の無解答率の対全国比

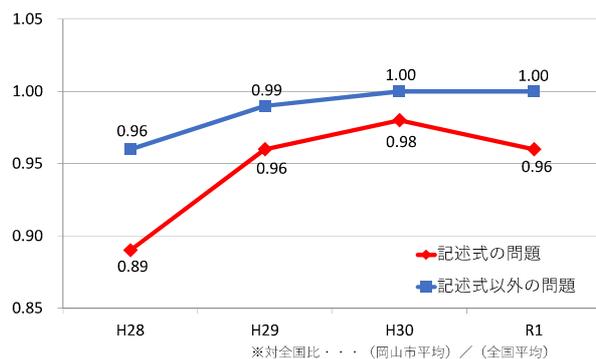
年度	H28	H29	H30	R1
小・国語	1.1	1.0	0.9	1.0
小・算数	1.1	1.0	0.9	1.0
中・国語	1.7	1.4	1.5	1.4
中・数学	1.3	1.1	1.2	1.2

※対全国比・・・（岡山市平均）／（全国平均）

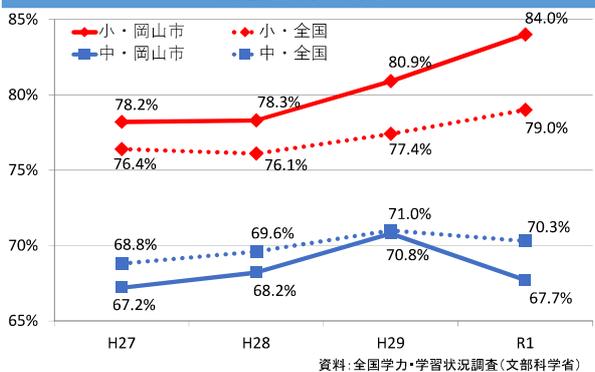
③全国学力・学習状況調査の正答率の対全国比  
（小学校の国語と算数を平均した値）



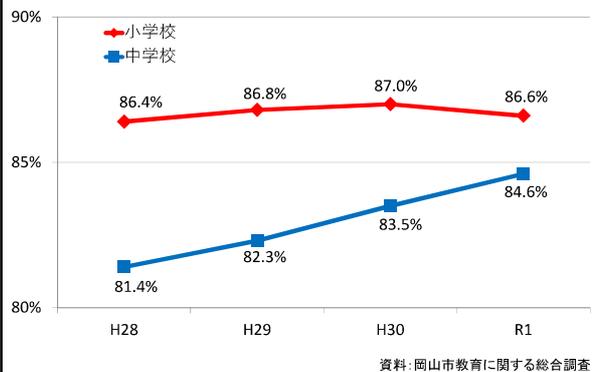
④全国学力・学習状況調査の正答率の対全国比  
（中学校の国語と数学を平均した値）



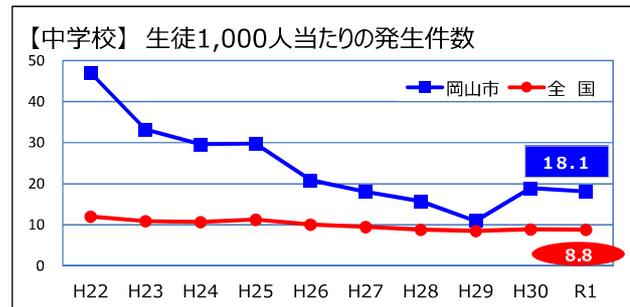
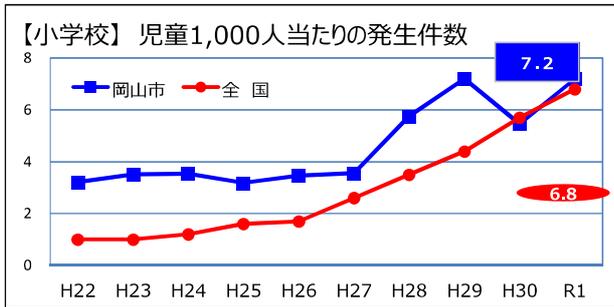
⑤難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している  
児童生徒の割合



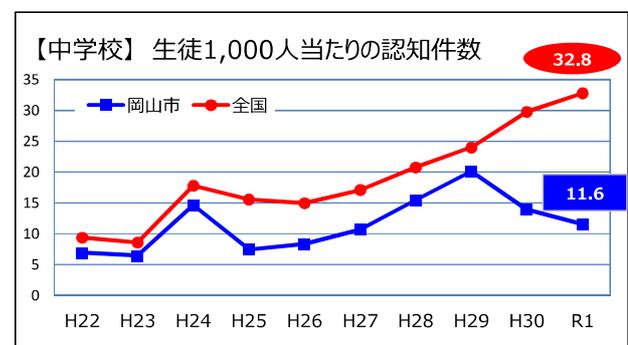
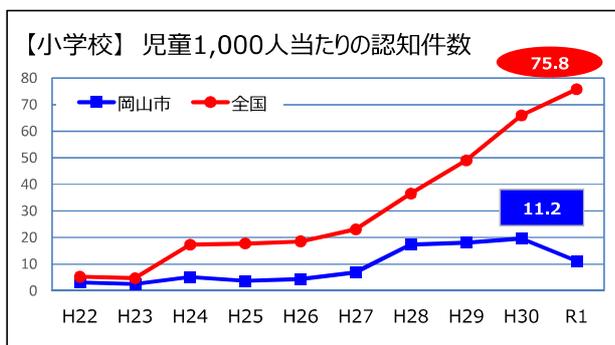
⑥人が困っているときに進んで助ける児童生徒の割合



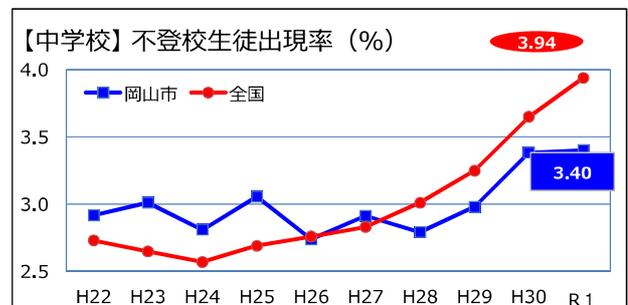
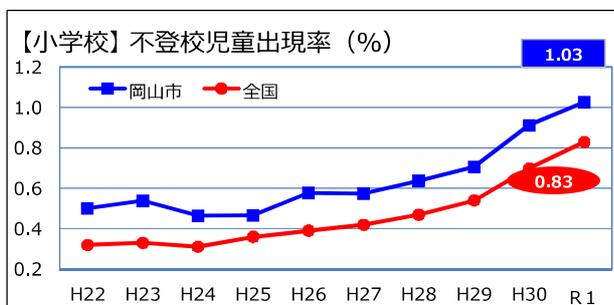
## 1 暴力行為の推移



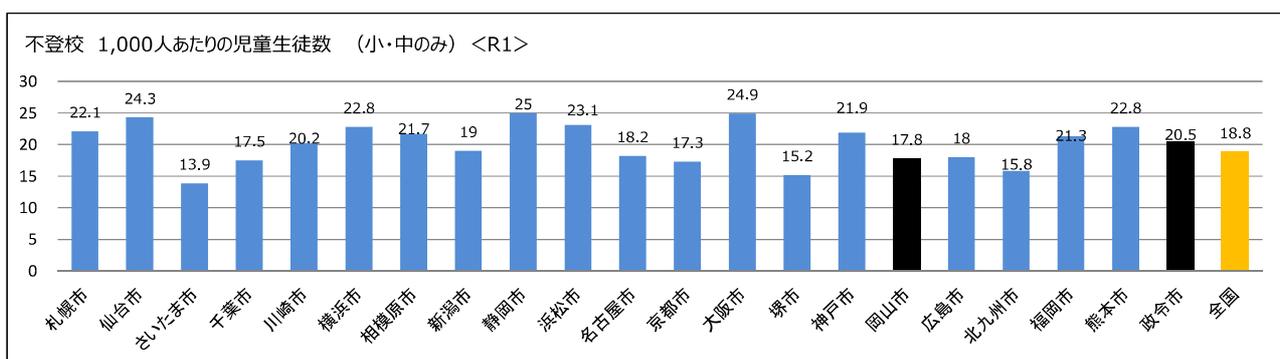
## 2 いじめの推移



## 3 不登校の推移



## 4 不登校(政令市・全国との比較)



※「政令市」は公立小・中・高等学校、「全国」は国公立小・中・高等学校